

だれでも幸せになれる教えです!!

# ひかり

2025年

2月

234号



恵方とは  
この道をただ  
進むこと

◇ 幸せを招く仏の智慧、八正道  
◇ 難病克服、罪と運命



ホームページ

宗教法人 真生会

令和七年信仰目標

# 仏の智慧を身に付けよう!!

『自分の成長と人救いのために』

## 真生会の教えとは！

仏さまの智慧とものの見方を身に付け、自分の運命を変え、在家の法華経教団です。宗旨宗派は問いません。どなたでも安心してお越し下さい。

### ◇慈悲の世界「真生楽園建設」

- ・ぬくもりと安心のある家庭と社会を作る
- ・思いやりと親切の実践

### ◇即身成仏「輝く自分作り」

- ・ありのままに輝く自分自身になる
- ・笑顔と明るい声がけの実践

### ◇幸福の五ヶ条

- 一、素直な心：（おかげさま）
- 二、誠の心：（まず人さま）
- 三、明るい心：（きつとよくなる）
- 四、尊ぶ心：（仏性を拝む）
- 五、信じる心：（皆、仏の子）

## ～お知らせ～

### 行事法要のご案内

#### 春季彼岸先祖大法要

3月23日(日)10:00 総本山、岐阜教会(合同)

3月16日(日)10:00 大阪教会

3月18日(火)10:00 名古屋教会

※只今、総本山・各教会において供養受付中

#### 創立46周年 立教祭

4月20日(日) 総本山真生寺

### 新年祝寿祈願大法要

一月十九日(日)総本山真生寺、各教会(名古屋教会は十四日)において新年祝寿祈願大法要が執り行われた。総本山では法要に先立ち左義長の儀を厳修し、旧年のお守り等がお焚き上げされた。全拠点において各々の祈願が導師により奏上された。

総本山での信徒体験法話では、鈴木快法さん(岐阜教会所属)が入信当時に開祖さまから教えて頂いたことを語られ、幸せを掴むには自身が得をすることを掻き寄せることではなく、人さまへ喜びを手向けることが幸せの秘訣。お釈迦様の教えである六波羅蜜の布施に通ずる実践によって大きな功德が頂けたことなどを発表された。

会長先生ご真教法話では



新年祝寿祈願大法要(総本山真生寺)

本年の信仰目標である「仏の智慧を身に付けよう」の解説があり、一人ひとりが仏の智慧を身に付ける精進をしていくと共に人を救う人になる、人さまの幸せのために法施の実践をしてみよう」と述べられた。

左義長の儀  
読経



お浄めの儀



点火の儀



お祓いの儀  
(名古屋教会)



新年法要参拝  
(名古屋教会)



信徒体験法話 鈴木快法さん



教会長より新年法話（大阪教会）



読経供養（大阪教会）



## 開祖さまのみ教え

開祖 田中偉仁

仏教ではこの世の中を「忍土」と言い、日常生活に忍ぶ心（堪忍）と事に当たって耐える努力が無かつたら、どこの家庭でも職場でも争いが

絶えず地獄の連続であり、一つ間違えば一触即発の危険をはらんでいきます。面白くない、喜ばない心は病気・貧乏・不和の現象となって身近に起られる人が案外精神的に寂しく、老後に至って苦勞の絶えない人があります。どこに不幸の原因があるのでしょか。堪忍は人生のエキスですが、ただ何でも辛抱すれば幸福になれると考えるのは、教えない凡夫の詰め込み堪忍であり、いつかは爆発します。「うきつらき心にそわぬ事をみな、良きに悟りて喜びを得よ」の教えの歌のように、成ったことを喜びに切り替える堪忍こそ、運命を向上させる幸せの基礎なのです。

（1984年、真実に生きる46号より）

# ぶし眞教法話

会長 田中庸仁  
た なか つね ひと



◇幸せを招く仏の智慧、八正道

部屋の乱れは心の乱れ、散らかった玄関に鬼が来る、汚いトイレは福逃げる。

悩みの多い人、問題に行き詰まっている人は、まず部屋の掃除、整理整頓を試みましょう。部屋が整い形が整えば心も整います。

きれいな玄関から、穢けがれた魔物や鬼神は入れません。トイレがきれいになれば福が舞い込みます。トイレがきれいになれば福が舞い込みます。「諸法実相しよほうじつそう」という形が整えば人生が整い始めます。

例えば、お正月に晴れ着を着れば身が引き締まり「今年は〇〇がんばるぞー」と決意が高まります。Tシャツ・ジーンズもファッションの一つですが、神社

仏閣の正式参拝や法座にお参りする時は一枚着替え、心を整えて神仏に向き合うことでご利益りやくに繋つながります。礼儀やマナーがしっかりしていると心が引き締まり、場が引き締まります。

いつも喧嘩けんかが絶えないご夫婦から相談がありました。相手を換えようとするから夫婦喧嘩になるのですが、根本には相手が変わってさえくれゝば仲良くなりたいたいという願望の反動です。「愛情の反対は憎しみではなく無関心です。(マザーテレサの言葉)」ですが、相手を変えようとしている間は腹が立つだけで問題は解決しません。

昔、小学校では先生の家庭訪問がありました。家庭環境が子供の学校生活に影響するからです。開祖さまも「一度はご信者さんの家庭訪問をするといいよ。その家の本当の姿がわかるからね」と教えて頂いておりましたので、このご家庭に突然伺いました。ご主人が驚いて出て見えました



ので「突然ですが、お二人のお話を聞かせてもらいに来ました。上がっていいですか」と言いますと、ちよつと困ったような様子で「散らかっていますが、どうぞ」と居間に案内されました。

小さな住まいで幼い子供さんもありますが、散らかっているどころではありません。足の踏み場もない状況です。所狭しと脱ぎっぱなしの衣類が散乱し、出しっ放しのおもちゃ、テーブルの上もキッチンも食器が散らかり放題の有様です。心が乱れているから部屋中が散らかっているのか、散らかっているから心が乱れるのか？どちらが先にしてもこのままでは益々事態が悪化することは火を見るより明らかです。

どちらにも言い分はありますが、相手のことも自分のことも正しく見えていないから「相手が悪い。許せない」という思いがエスカレートするのです。若年離婚だけではなく熟年離婚が増え続ける昨今、どこにでもありそうな問題です。今はどちらも論<sup>さ</sup>すことが出来ませんから、「どちらが良いとも悪いとも言えません、散らかり放題の部屋の掃除から始めてみなさい。姿形がきれいに整<sup>もんもん</sup>うと身も引き締まり、悶々とする心も変わって来ますよ。できる所から始め

て下さい。行えば結果が出るのが妙法です」とだけ申し上げ、「火は盛んにして久しからず」信じて見守ることにして帰りました。

釈尊は、苦から解放され幸福を招くための生活実践「八正道」を説かれました。

【正見】正しい見方をする。自己中心的な見方や偏った見方をしない。ありのままを素直に見ることです。

七曲がりの松という話があります。(一) 休禅師と蓮如上人の物語)

どこから見ても曲がりくねった松がありました。そこに一休さんが「この松をまつすぐに見たものに、金一貫文を与える」と看板を立てました。

往來に賞金の一貫文をもらおうと人だかりができました。そこへ蓮如上人が通りかかると「蓮如さま、あの松をまつすぐに見えないでしょうか」と人々が尋ねます。



「それではワシが一休の所へ行つて、金一貫文もらつてこよう」と一休さんのもとへ蓮如上人が訪ねてきます。

ところが「お前はだめだ。あの看板の裏を見てこなかったのか。『但し本願寺の蓮如は除く』と書いてあるだろう」と追い返されます。

そこへ人が集まつてきて、「蓮如さま、この松をまつすぐ見られたんですか？」  
「ああそうじゃ。そなたたちは、曲がった松をまつすぐ見られたんですか？」  
方をしておるが、ワシは曲がった松じゃなあ、とまつすぐに見たのだ」という逸話があります。

物事をありのままに見つめることは、難しいことです。人は見たくない現実を避けたり、自分の都合のいいように思い込むのですが、ごまかしや思い込みで問題は解決しません。現実を直視することから解決の糸口がつかめます。

人生の実相（本当の姿）もありのままに見ていくことが大切なのです。ここを見間違えると後の七つの道もすべて間違つていき、苦悩の負のスパイラルに陥るのです。

【正思】

正しく考える。

【正語】

正しい言葉使いをする。

【正業】

正しい行為

働き方をする。【**正命**】しよみん 礼儀正しく規則正しい生活をする。

【**正精進**】しよしよじん 正しい目標に向かって努力する。【**正念**】しよねん 正しい

信念を持つ。【**正定**】しよじやう 正しく精神を統一し心を鎮める。

「正しい」とは自分本位ではなく、「真理に合った」「調和のとれた」見方や行動をしなさいという教えです。

### ◇ 難病克服、罪と運命

かつて、重度のてんかんの病気を持つ中学二年生の女の子が、叔母さんに連れられ聖祖様に相談に來られました。

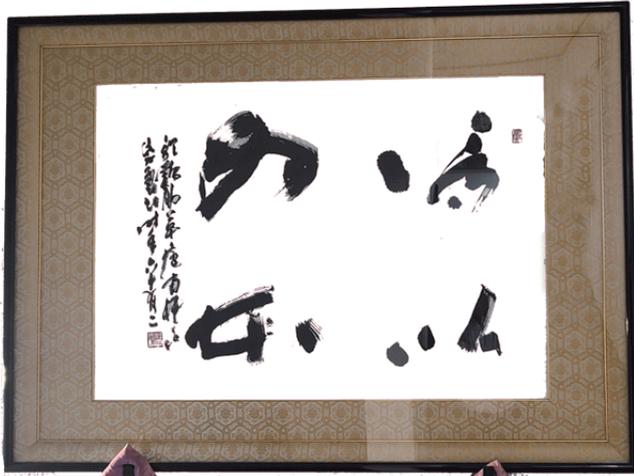
親はどうして來られなかったか尋ねられますと、「親はこの子を見捨てています」とのことでした。「親の協力がないと難しいですね。親が当てにならないのなら、恨んでも良くなるものではないから、自分が人の何倍も努力をして徳を積み運命が変わります」と教えられました。その後、先生もこれ以後この少女は來られません。十年後、先生のもとにこの少女から一通の手紙が届きました。



「先生は覚えて見えないかもしれませんが、十年前叔母に連れられて、てんかんの相談をした〇〇です。親が当てにならなかつたら、自分が人の何倍も良いことに努力して徳を積む以外にないとの教えを心に刻み、人の健康に役立つ仕事をしようと決意し、中学卒業後、鍼灸しんきゅうマッサージの専門学校で学び、あるマッサージの先生のもとで一生涯懸命努力しました。ご縁あってその先生と結婚し、今ではてんかんの発作も起きなくなりました。ありがとうございます」というお札の手紙でした。

私が聖祖様になぜ難病が治られたのでしょうかとお尋ねしますと、子供の難病は親の不徳、親の業であることが多いから、結婚したり独り立ちすると縁が変わり良くなることがある。この少女は親を恨んだり、責めたりせず、現実を受け入れ（正見）、自分が病気で困ったから、人の健康のために働こうと（正思）、マッサージを生業とし（正業）、十年頑張り続けた（正精進）からこそ、結婚もでき難病を克服し幸せな人生がやって来た（正定）のです。罪や業があつても、自分の命（心）を正しく運んでいけば、因縁が変わり運命うんめいがよくなるのです。妙法はよみがえる教えであるという証左の実話であります。

## 先師の名言、名書



### ◇徳以爲本（故、平松紫雲先生書）

日展二年連続の特選書道家、平松紫雲先生から総本山眞生寺に寄贈された扁額（へんがく）「徳を以て本と為す」です。眞生寺の光徳会館に掲げられています。人の本当の幸せは、財や学歴や地位ではなく、善行を積み重ねた徳こそが幸せの本になるという意味です。

平松先生は人生の師として開祖さまから法を学ばれ、開祖さまは書道の師として書を平松先生から学ばれ、共に信じ尊敬する互いに学び合われる開祖さまの長年の友でありました。

眞生寺には平松先生が数々の権威ある展覧会で賞をとられた軸、屏風、衝立などの作品が寄贈されています。ご参拝の際には是非ご鑑賞下さい。

# 今月の運勢（3月）

（2025年3月5日～4月3日）

## 一 白水星

八方塞がりの月で新しいことを始めることより力を蓄えることです。周りから見られてるので軽率な動きや積極的に行動する事は控え、周囲の状況を把握しましょう。

## 二 黒土星

天と地、主と従、老と若が共に歩み寄り交われば望みごとはすべて叶う。お互いの気持ちを通じ合い天下泰平となる。個人的には長所を伸ばし短所を慎むことを心掛けよう。

## 三 碧木星

収穫の時だが機が十分熟してから始めるこ

と。最初に時機を早まると結果は良くない。

何事にも最初に無理をするとは後になっても修正が利かない。最初のボタンの掛け違いは最後まで影響する。

## 四 緑木星

何事も水が流れるように進むが急進ではない。徐々に順を追って進むこと。約束事や契約は正しく順を追って細心の注意を払いながら進めるならすべて吉となりうまく行く。

## 五 黄土星

太陽の下にあつて気持ちも明るく情熱が湧いて来る。先が見えアイデアも冴えている。力

が入り過ぎて感情的にならないこと。怒りはすべてを破壊してしまう。争い事は避ける。

## 六 白金星

運氣の谷間にいる。苦悩が付きまとうが焦らずじっと待つこと。思わぬトラブルに巻き込まれやすいが絶対自分の判断は控えること。非があれば認め、改めれば事態は収まる。

## 七 赤金星

喜びと感謝があれば人と物が自然と集まってくる。勢いがある時なのでしっかりと徳を積んで積極的行動に出れば良い。但し慢心や油断があると予期せぬ問題

が起こる心配があるので謙虚さと準備を怠らないように。

## 八 白土星

平素の生活と言動が結果につながる。どんな働きをしてどのように入金を得ているか。どのような言葉が発しているかが大切な時。言葉使いと生活を慎むことが大切。

## 九 紫火星

発展飛躍の時だが、盲進するのではなく新旧の意見の調整や相手の要望をよく理解し調整することが大切。部下や目下の人には施しや情けを十分に掛けて面倒を見れば力となる。

## 「まごころ誌代」御礼

飯田昌子	鈴木快法	堀部恭利	安田初子	永田雅子
飯田修五	多田佳央	堀部祐美衣	滝本光夫	滝山恵依子
大橋千枝子	宮田雄貴	多田敏春	四日市某	小村友子
田中庸仁	山田佳延	足立和美	岸本昌子	大下裕子
田中佑季子	杉浦妙子	亀井善二	岸本周夫	堀田純子
田中祥陽	田中伸佳	土川順寛	京川春男	坪井祥子
田中理夏子	田中二三子	土川恭代	鈴木正巳	長尾夏芳里
田中宏明	田中慧理	土川康二	家安久子	長尾かれん
田中花音	ワズワズ優華	土川廣美	福元正子	奥田佳代
亀井善広	豊田直正	横山知津子	谷口祐晟	平口富子
亀井由実子	豊田真悠子	某女	谷口祐子	大西啓依子
熊田啓予	矢野弘子	山本季美衣	荒木敬依子	横井志奈子
松尾定洋	大橋末子	佐藤百々枝	池澤幸代	横井明彦
加納啓至	平工初子	佐藤光洋	長尾夏芳里	早野起世
高橋身衣	大西佑樹彦	伊東 晃	坂本育身	早野桂子

★皆様の『まごころ次第』献金のご協力によって継続発刊しています。  
紙面をもって感謝申し上げます。(敬称略・順不同)

### 《入会のご案内》

真生会は、個人の心の勉強と実践を目的とする個人会員制です。各家の宗旨宗派はご自由です。詳しくは総本山真生寺、各教会にお尋ね下さい。

☆会員会費 500円/月

発行所 宗教法人 真生会 総本山真生寺  
〒501-1105 岐阜市彦坂178番地  
TEL 058(235)7304

発行人 会長 田中庸仁

振込先 三菱UFJ銀行 岐阜支店  
普通口座 3715509

名義 宗教法人真生会 代表役員 田中庸仁

## しあわせ眼鏡

遠回りすることが  
一番の近道  
遠回りしただけ深  
みが出る  
続けることは無駄  
ではない

(イチロー選手の名言)

お気軽にご連絡ご相談下さい

- |          |            |  |
|----------|------------|--|
| 【総本山真生寺】 | 〒 501-1105 | 岐阜市彦坂 178 番地<br>T E L 058 - 235 - 7304       |
| 【岐阜教会】   | 〒 500-8882 | 岐阜市西野町 3 - 19<br>T E L 058 - 262 - 9615      |
| 【大阪教会】   | 〒 532-0028 | 大阪市淀川区十三元今里 3-4-10<br>T E L 06 - 6308 - 5637 |
| 【名古屋教会】  | 〒 454-0808 | 名古屋市中区九重町 3 - 10<br>T E L 052 - 351 - 3904   |

上記の教会にお申込み下さい。必要な冊数を毎月お送りします